（別紙２－４）

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」　総括表

法人名	社会福祉法人吉田向陽会	代表者	川原園勝夫
事業所名	鹿児島吉田の郷	管理者	中馬勇希

法人・事業所の特徴	地域との交流と介護相談（特に認知症対応）に力を入れています。また、地域の方々との交流もかね、協働で「地域行事」を行っています。赤ちゃんから高齢者の方まで幅広く、当施設が「憩いの場」として活用できるように努めています。

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	3人	2人	人	人	1人	人	5人	人	11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A．事業所自己評価の確認	事業所自己評価の改善計画やチェック項目を職員の目の届くところへ掲示し、常に意識して業務を行う。また、運営推進委員の方々や行政機関といった第三者の声に耳を傾け、問題点の早期認識や改善に努める。	・日々の業務に追われてしまい、自己評価の改善計画を意識しながら業務を行うことが難しかった。 ・スタッフ間で、出来ている人とそうでない人の差がある。	・改善計画に向かって、スタッフ全員が意識的に取り組んでいる。 ・課題や改善計画が文章化できているので、スタッフも理解しやすいのではないか。	・内部研修を充実させる。個人で研修ファイルを作り、その時だけでなく振り返って継続的に学習できるようにし、職員全体のスキルアップに努める。
B．事業所のしつらえ・環境	日常生活や施設行事の質向上を目指し、利用者様にとってより良い環境を提供できるよう職員教育に力を入れる。また、運営推進会議で施設見学を行い利用者様の過ごされている環境を見て頂き意見を伺い施設環境の充実を図る。	・6月の推進会議の際に、施設を見学していただき様々なご意見をいただくことができた。 ・イベントについては、ご家族様を呼んでのクリスマス会は初の試みだったが、大変好評だった。 ・外出のイベントが少なかった。	・デイルームで過ごす時間帯に音楽を流してみてはどうか。 ・壁の掲示物の安全面のチェックをした方が良い。	・レクリエーションや体操の合間に、利用者様にリクエストを聞き、好みの音楽をかける。 ・季節ごとに掲示物が変わるので、その都度安全面のチェックを行う。
C．事業所と地域のかかわり	吉田・吉野地区の広報誌を活用し、地域行事の情報収集を行う。また、前もって施設計画を運営推進会議で発信し、より多くの牟礼岡地域の方々と吉田・吉野地区の利用者様との交流の場を設ける。	・年末のそばうちイベントでは、多数の参加者があり、利用者様も参加し、地域の方々と交流をすることができた。	・今後も施設で行うイベントの情報を教えていただきたい。 ・そばうちは、大変好評でした。	・地域で活躍している方々をお招きして、地域の方々と事業所との交流の機会を増やしていく。
D．地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	運営推進会議の中で地域行事予定を伺う項目を作り、行事予定の情報収集を行う。また、本人様や御家族様の希望を尊重しながら、地域行事への参加を促し、施設での声掛けが難しい場合には、民生委員の方へ声掛け等の協力を依頼する。	・推進会議内で地域の行事を教えていただき、積極的に参加することができた。 ・地域の敬老会では、顔なじみの地域の方々と楽しそうに過ごされていた。	・地域の行事（夏祭り、敬老会、運動会）にも積極的に参加している。	・今後も継続して地域の行事に積極的に利用者様と参加していく。
E．運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議で地域のお困りの高齢者の情報を伺い、見守り等の支援を継続して取り組む。また、交代で現場スタッフを運営推進会議に参加させ、会議内のアドバイスや意見を効率よく収集・反映を行う。	・運営推進会議内で情報をいただいた地域の方の相談を受けた。 ・現場スタッフを交代で会議に参加させることは、人員配置の関係で難しく実行できなかった。	・介護相談は、地域や相談件数等をデータ化したら、全スタッフが今の現状を知ることができるのでは。 ・推進会議内で事例検討されているので、相談しやすい。	・介護相談があった際には、スタッフ会議内で随時報告し、情報の共有を図る。相談地域や相談内容も管理職だけでなく、全職員が把握できるようにしていく。
F．事業所の防災・災害対策	地域公民館の災害時組織形態に吉田向陽会を入れてもらい、施設の地域への役割を統一し連携を取る。また、地域の地形を理解し、牟礼岡地域で起こりうる災害の勉強会を行い、職員個々の避難手順の再確認を行う。	・牟礼岡コミュニティの災害時の組織に加入させていただき、地域安心安全ネットワーク会議にも参加することができた。	・訓練は予告なしでしてみてはどうか。 ・地域の消火栓の場所、公衆電話のある場所を把握しておくと良いのではないか。	・予告なしで訓練を行い、個々の利用者様の実際の動きを職員も把握しておく。 ・地域の消防団の方に消火栓の場所の地図を貰い、職員間で情報を共有しておく。